

Contents

Section 1

価値創造ストーリー

- 2 価値創造ストーリー
- 4 挑戦と成長の軌跡
- 6 ビジネスフィールド
- 8 財務・非財務ハイライト

10 社長メッセージ

社長の登坂が、太陽誘電グループが目指す姿、直面する電子部品業界の環境変化と変化に対応した事業戦略・事業活動、ESG戦略についてご説明します。



16 特集

自動車市場での成長加速を目指して

「CASE」と呼ばれる新領域により、パラダイムシフトが起きつつある自動車業界。電子部品業界においても、成長市場である自動車向けに注力する動きが強まっています。ここでは他社との差別化要因などを踏まえた自動車市場における成長戦略についてご説明します。



Section 2

価値創造のための戦略

- 20 価値創造のための戦略
- 22 市場環境と事業の展開
- 24 ビジネスモデル
- 26 中期戦略
- 28 営業概況 At a Glance
- 30 研究開発活動
- 32 人材戦略

Section 3

価値創造を支える基盤

- 34 取締役、監査役および執行役員
- 36 ESG
 - 36 マネジメント体制
 - 38 環境(E)・社会(S)関連活動
 - 40 コーポレートガバナンス(G)
- 44 社外取締役対談

データセクション

- 46 11年間の財務・非財務サマリー
- 48 財務レビュー
- 50 連結財務諸表
 - 50 連結貸借対照表
 - 52 連結損益計算書
 - 53 連結包括利益計算書
 - 54 連結株主資本等変動計算書
 - 56 連結キャッシュ・フロー計算書
- 58 会社情報
- 59 株式情報

編集方針

太陽誘電グループは、投資家をはじめとした多くのステークホルダーの皆さまに向けたコミュニケーションツールとして、2018年より統合報告書「TAIYO YUDEN Report」を発行しています。従来の財務情報や経営戦略に加え、ESG(環境・社会・ガバナンス)情報を拡充して掲載しています。信頼性の高い電子部品の提供をはじめ、各種モジュール・ソフトウェアを含めた総合的なソリューション提案によりお客様や社会的な課題の解決を図る取り組みなど、太陽誘電グループがどのように持続可能な成長と社会への貢献を実現していくかについて、より分かりやすくお伝えすることを目指しています。今後もステークホルダーの皆さまからのご要望に真摯に応え、太陽誘電グループの活動をより深くご理解いただけるよう努めてまいります。

太陽誘電グループの財務・非財務に関する詳しい情報については、太陽誘電Webサイトをご覧ください。

- 株主・投資家情報 <https://www.yuden.co.jp/jp/ir/>
- サステナビリティ <https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/>

報告対象範囲

本報告書は、当社、国内子会社10社、海外子会社16社を合わせた27社(2019年3月31日時点)を対象としています。

参考ガイドライン

編集においては、IIRCが推奨する国際統合報告フレームワークや経済産業省の価値協創ガイダンスを参考にしています。ESG情報に関しては、環境省の「環境報告ガイドライン(2012年版)」を参考にしています。さらに、GRIガイドラインを参考にし、環境に関する指標を掲載しています。



注意事項

- 本報告書における事業年度は、前年の4月1日からその年の3月31日までです。
- 本報告書に記載されている金額は、億円および百万円未満を切り捨てて表示しています。
- 本報告書の財務データは、日本の会計基準および関連法規に基づいて作成した

- ものであり、当社の英文アニュアルレポートとは異なる部分があります。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、太陽誘電は、これら商標を使用する許可を受けています。
- 本報告書の記載内容は、2019年6月29日時点のものです。

免責事項

本報告書は、太陽誘電グループの業績および事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、太陽誘電およびグループ会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本報告書の内容には、将来の業績に関する意見や予測などの情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成しています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更することがあります。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本報告書の無断での複製・転記などを行わないようお願いいたします。